

2024年9月11日(水)酷暑。今年の夏は殊の外暑く、熱中症を警戒してウォークを止めていたが、9月の第二週に入っても未だ暑さ止まず。シビレを切らせてウォークに出掛けた。

前日真岡のビジネスホテルに泊まり、朝早く出発して「⑮雲流れる桜花の道」を午前中に歩き終えて、電車に乗り換え、小山から宇都宮線の小金井駅に出る。

午後からこのコースを歩いた。大した見所もない9kmのコースであった。



「⑮ゆうがおのみち」案内板は、小金井駅構内にある



コース図:小金井駅出発、姿川のサイクリングコースを歩いて、自治医大駅ゴールの 9km 2 時間のコース



午前のウォークは益子駅がゴールで、下館駅に出て、水戸線で小山駅乗り換え、宇都宮線で小金井駅下車する



小金井駅 13:40 歩き始める。公称 9km 2 時間のコースだが、この炎天下給水と休憩は必須だね



「小金井の一里塚」(国指定史跡)

塚上の榎は植え継がれているが、関東地方で両塚との間に、当時の街道が残っているのは、ここだけである



一里塚は現国道4号線沿いにわずかに残された。江戸から22里目



関東ふれあいの道は、屋敷の敷地内に石の里程標があった。外柵工事でこのようになったのだろう



「東山道跡」 久保公園に奈良時代の東山道の一部が残っている(文化財)



奈良から近江、美濃、信濃、上野、下野、陸奥に到る道



下野國(栃木県)を通る東山道の宿駅



町の中を抜けると、両側は田圃だけ



米不足と云われる今夏、“とちおとめ” 稲刈りの最中であつた



駅から歩いて一時間弱、姿川に出る。橋の名前がいいね！
正しくは「御使者番橋」という。コースはここから川沿いのサイクリングコースを歩く



アスファルトの照り返し道を避けて、川沿いの道は、心持涼しい



田に水を引いている所も有るのであろう、堰には水が一杯



箕輪城跡の森が見えて来た



箕輪城社の土塁を登る



「箕輪城址」 寛正3年(1463)室町時代。壬生胤業が築いたというが、この地方の豪族小山氏が築城した中世の山城。姿川に面して南北に伸びた台地に築城された



永禄元年(1558)戦国時代に落城、土塁と空堀が残された。上州高崎の箕輪城(国指定史跡)とは全く異なる



帰路は駅に向かって東へ辿る。姿川を箕輪橋で渡る



田圃を過ぎて、畑地に来て、タイトルの「ゆうがお」に出会わない



これは瓢箪だよ！ という訳で、ゆうがお畑は絶滅したらしい



あんまり暑いので、ショートカットして、自治医大前駅にゴールした 16:40 着

[参考タイム] 小金井駅(13:40)→お使い番橋(14:36-14:40)→箕輪城社(15:45-15:55) →自治医大駅(16:37)

この項完

「関東ふれあいの道(栃木)⑩アシそよぐ水辺のみち」に続く